

2014 村上ローカルルール(競技関係)

スイム【1500m】

1. 国際部門とリレー部門はウエットスーツの着用を義務とします。
2. エリート部門は7時30分にウエットスーツの着用可否を公式掲示板において発表します。

バイク【40km】

1. エリート部門はドラフティングレースです。ハンドルバーについてはJTU競技規則を参照願います。
2. 国際部門とリレー部門はドラフティング禁止です。(詳細はJTU競技規則による)
 - ① ドラフトゾーンはバイク前輪の最前部を基点として後方7m、横幅3m(前輪を中心として左右それぞれ1.5m内側)で、追い越し規定時間は15秒以内とします。
 - ② 走行する競技者を追い越した時、7m以上の安全車間距離を開けてからキープレフト走行に入らなければブロッキングとみなしペナルティの対象となります。(詳細はJTU競技規則93条のブロッキングを参照)
 - ③ バイクペナルティにはストップアンドゴー・ルールを適用します。
警報シグナル⇒ナンバーコール⇒ストップ指示で左端に停止して降車します。
バイクを両手で持ち上げ、審判の「ゴー」の指示で競技を再開します。
 - ④ 走行中はキープレフト(左側走行1m以内基準)を順守してください。
 - ⑤ 追い越しは「後方確認し、右側から追い越す」が基本です。
後方に合図を送り「ひと声かけて追い越すこと」を推奨します。
 - ⑥ 追い越し中は、“追い抜く意思をもって前進している”ように見えなければなりません。また、追い抜かれた競技者は“加速を止め”追い越した選手のドラフトゾーンから離脱しなければなりません。
3. バイクスタート直後に、急勾配の上り坂がありますので、事前にローギアに設定しておくことを推奨します。
なお、手押し走行も可能です。またフィニッシュ直前の下り坂は十分に減速をしてください。

ラン【10km】

1. 走者はキープレフト(左側走行)を心掛けてください。また、狭い地点での追い抜きは、ひと声かけて右側からです。
2. 総合フィニッシュ地点ではサングラスを外して通過することを推奨します。
3. フィニッシュラインは一気に通過する競技精神を推奨します。
4. 国際部門とリレー部門では他の競技者の安全確保と競技の邪魔にならない範囲において同伴フィニッシュを許可します。

エイドステーション

減速して、安全かつ確実に受け取ってください。紙コップ等は周辺に投げ捨てないでください。

- ◇ スイム会場 2箇所
- ◇ ランコース 7箇所(約1kごとに設置)

記録計測について

- ICタグ内蔵のアンクルバンド(自動計測バンド)を付けて競技していただき、各計測地点を通過する際、受信アンテナに検知させて記録します。
1. アンクルバンドの装着
大会当日、スタート前受付時に受け取り係員の指導のもとで左右いずれかの足首に装着してください。
なお、リレー部門は同一のアンクルバンドを次の競技者に引き継いでいただきます。
 2. 計測地点：3箇所
 - ① スイムフィニッシュ
 - ② ランスタート
 - ③ ランフィニッシュ
 3. 計測地点での注意
 - ① 計測地点の通過の際に検知不良だった場合、係員から「停止」と「再通過」の指示を受けることがあります。
 - ② リタイアした者は近くのマーシャルにアンクルバンドを返却し、身に付けたまま計測地点へ近づかないよう注意してください。
 - ③ ランフィニッシュ後、アンクルバンドを係員がすぐに回収します。未返却および紛失については、申告義務と弁償(5,000円)義務があります。

競技の安全優先

安全第一をモットーに競技して下さい。オリンピックスポーツ「トライアスロン」発展のため健闘を期待します。

2014村上ローカルルール（主要な注意）

【大会基準】 交通規制のもとに競技を行います、一般交通規則を必ず順守して下さい。

- 1) 2014村上・笹川流れ国際トライアスロン大会は、(社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則のほか、「村上ローカルルール」を制定して競技を行います。なお、特別に指定された項目以外は全て共通ルールとします。

<規制時間>

部門	スイム	バイク	総合フィニッシュ
エリート部門 男子	25分	スイムスタートから 95分	スイムスタートから 140分(2時間20分)
エリート部門 女子	30分	スイムスタートから 105分	スイムスタートから 155分(2時間35分)
国際エイジ部門 リレー部門	60分	スイムスタートから 160分	スイムスタートから 240分(4時間)

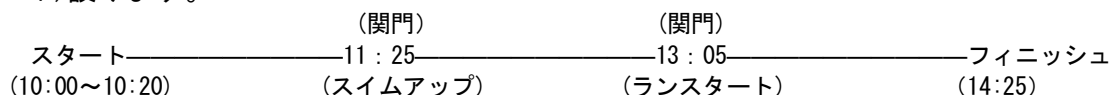
※運営に支障のある場合、上記時間を過ぎた方に競技を中止していただくことがあります。

※交通規制の関係でスイムフィニッシュ、ランスタートに関門を設けます。

- 2) スイムコース競技不良と判断された場合、デュアスロンに変更して競技を行います。
リレー部門は、スイム担当者が第1ランを走ってください。(スイム担当者はランニングシューズをご持参ください)。これ以外は状況に応じて決定し、競技内容の変更、記録の発表、ペナルティーの公示等は「公式掲示板」に表示します。
- 3) **スイム競技を回避する場合、当日8:30までにスタート前受付へ申告をします。**選手は、審判長及び競技役員の指示に従ってスタートします。但し記録はDNF扱いです。スタート時間、待機場所は当日審判長及び競技役員の指示に従ってください。
- 4) リレーの部で時間内に前の種目の選手が戻ってこなかった場合は、繰り上げスタートを実施します。但し記録はDNF扱いです。スタート時間、待機場所は当日審判長及び競技役員の指示に従ってください。

制限時間に関する注意点

今大会は各パート(スイム、ラン)の制限時間は設けずレース全体の中で関門を2ヶ所(スイムフィニッシュ、ランスタート)設けます。



<スイム>

- 全てのカテゴリーにおいて11:25までにスイムタイム計測ポイントを通り過ぎない場合は、スイム終了時点で競技を終了する。

<ラン>

- すべてのカテゴリーにおいて13:05までにランスタートできない場合は、その時点で競技を中止する。(ランスタート地点は、トランジションエリア出口のランスタート計測ポイントとする)

<バイク制限時間(交通規制時間)>

- 交通規制時間の都合上、13:00までに瀬波小学校前(復路、約38km地点)を通り過ぎない場合は13:00時点で競技を中止する。

<フィニッシュ時間について>

- ・フィニッシュ制限時間を4時間以内とする。4時間を超えてフィニッシュした場合はDNFとする。

【重要注意／大会期間中】

1. バイク走行中の「ヘルメット着用」を義務付けます。(重要ルール)
2. 練習やお帰りの際には必ず交通ルールを守ってください。信号は必ず順守ください！
3. 接触事故の恐れがあるため、日没後のバイク練習は禁止します。
4. 近隣住民の方のご迷惑にならないようにお願いします。
並走、集団走行は禁止（キープレフト）。前方注意は義務です。

【競技用具・備品】

1. レースナンバーはバイクでは後に、ランは前に付けてください。バイクとランを同一のウエアで競技する場合は、レースナンバーを前と後に付けてください。
2. エリート部門は、バイクでレースナンバーを付けなくて競技することが許可されます。
3. レースナンバーは四隅ともウエアに縫い付けることを推奨します。またレースナンバーベルトの使用も許可します。
4. レースナンバーは明確に見えるよう、また、ウエアはめくれ上がらないよう注意しましょう。
5. レースナンバーシールについては、主催者から提供されたものを使用ください。
6. バイクボトル等、用具類には名前を明記することを推奨します。

【選手支給物について】

大会前日の選手登録（受付）時にお渡します。

- ① レースナンバー
 - ② ヘルメットステッカー（2枚）・・・ヘルメットの右側と前方につけてください。
 - ③ バイクステッカー（1枚）・・・サドル下、右側の見えやすいところにつけてください。
 - ④ スイムキャップ
 - ⑤ IDリストバンド（その場で装着します）
 - ⑥ トランジションバック
 - ⑦ 出場記念Tシャツ
 - ⑧ 大会プログラム（選手名簿等）
 - ⑨ スポンサー提供品
 - ⑩ ボディーナンバーシール
- ※貼付方法は別途ご案内します。

